

羅針盤



社会科部 情報活用委員会

「繋ぐこと、変えること」

社会科部長 片桐 徹

この10年足らずの間に、現職教育社会科部が始めたり、関わったりしてきた取組は、いくつもあります。例えば、「岡崎の心の醸成(家康学習)」、「社会科研究作品展」、「社会科研究作品発表会」、「郷土読本(おかざき)教師用指導の手引作成」、「自主研修サークル(セーリング)のリニューアル」などです。いずれも、社会科部を支えてくださる先生方のおかげで、岡崎の子供たちの学びや社会科が専門でない先生方の授業づくりの大きな支えとなっています。本当にありがたいことだと思っています。

こうした取組の発端は、いずれも社会科の学びの面白さ、楽しさ、奥深さを一層多くの子供たちや先生方に届けたいという当時の社会科部の先生方の強く厚い思いにありました。しかし、そのスタートはどれも困難の連続でした。例えば、社会科研究作品展の新設は、「子供が懸命に取り組んだ夏休みの社会科作品にも、理科、技家科の作品と同じように、陽を射してやりたい」という声がありながら、なかなか認知されませんでした。そんな中、最初の研究作品展では、「りぶら」の協力を仰ぎながら、なんとか実現に踏み切ることができましたが、当時の部長先生が身銭を切って用意された参加賞の授与が精一杯でした。そして、「社会科部のこうした取組が、どれほど子供たちの学びを押し上げたか」という実績を広めることで、次年度からの研究作品委員会の立ち上げ、作品展の定着に結び付いたのです。この経緯を知る先生も少なくなりました。

教育現場では、しばしば「現状維持は、退化と同じ」と言われます。本質は変わらなくても、子供は変わり、先生も変わり、求められるものも変わってきます。そうなれば、自ずとアプローチの仕方を変えなくてはなりません。「大切なものを見失っていないか」、「本当に子供の学びの支えとなっているのか」、「先生方に本当に必要なものは何か」、こうした視点に立ち返ることが必要です。前年に倣って「同じようにやり遂げることで良し」としては、決してプラスにならないのです。

社会科部の現在の取組は、それぞれ今も子供の学びを支える大切なものばかりです。かつての子供たちの探究心や活力、それを支えた先生方の厚い思いは、脈々と受け継がれていると信じます。社会科部がこれまで積み上げてきた財産を大切に繋ぎながらも、決して形骸化しないように、毎年、新しい目で見直し、変えていくことは、私たちの大切な努めであると思っています。

「おかざき学習」実践報告

(小4・小6・中1・中3)

小4「岡崎の英雄 徳川家康 ～馬頭が原の戦いから学ぶ～」

緑丘小 柴田拓磨 先生

- ①家康とゆかりのあるものを探そう
- ②家康の人生について知ろう
- ③「家康三大危機」について学ぼう
 - ア 三方ヶ原の戦い
 - イ 三河一向一揆Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
 - ウ 伊賀越え
- ④家康が残した思い
- ⑤家康に手紙を書こう

◎学区に伝わる「馬頭が原の戦い」を教材化した。
 ◎単元を通して、子供自身が、実際の史料を国語辞典を使って読み解くようにした。
 ◎三河一向一揆の合戦の様子について、史料から読み取ったことを地図に落として視覚化した。
 ◎家康館を見学し、三河一向一揆について重点的に学習した。
 ◎「自分が家康だったら、裏切った夏目吉信を許さない」と考えた子供たちを史料の記述をもとにゆさぶった。

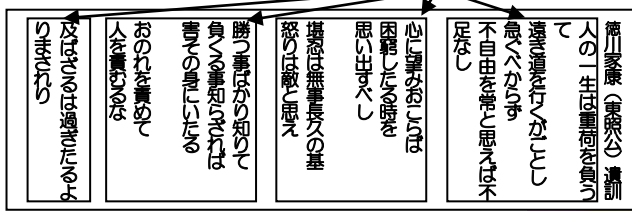


小6「郷土の偉人 徳川家康の願い」

常磐小 河口加奈 先生

- ①家康が天下を取るまでにはどんな道のりを歩んだのだろう
- ②家康は平和な世の中をつくるために、どんなことを行ったのだろう
- ③松平家家臣が何のために家康に仕えてきたのか考えよう
- ④家康の生涯の出来事と遺訓の重なる点について考えよう

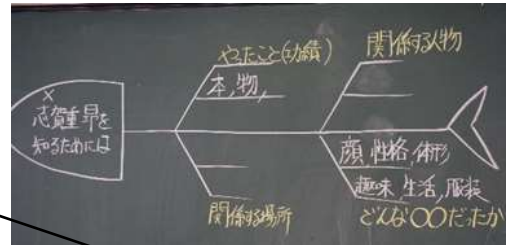
◎家康の生涯について具体的に知り、内容を深めるために、生涯の年表を作った。子供は、郷土読本「おかざき」や図書資料を使って年表を作成した。
 ◎家康が遺訓を残したことを紹介した。家康の生涯と遺訓の関わりについて考えるようにした。
 ◎子供と相談して、遺訓を4つのブロックに分けて色分けした。4色の付箋を使って遺訓と生涯の出来事とのつながりを見つけるようにした。



中1「岡崎の歴史のとぴらを開いてみよう」

新香山中 内田裕斗 先生

- ①岡崎の偉人について知っていることを出し合おう
- ②志賀重昂について4つの視点から調べを深めよう
- ③志賀重昂とは、どんな人物だったのだろうか



◎石田茂作、志賀重昂、徳川家康、本多光太郎について、郷土読本『岡崎』を使って調べた。地理学習と関連して志賀重昂について詳しく取り上げることにした。
 ◎志賀重昂の①功績②関係する人物③関係する場所④人柄・性格 について調べた。ジグソー学習を取り入れた。
 ◎「フィッシュボーン」「くらげチャート」といった思考ツールを取り入れ、学習のまとめを行った。

中3「近代に活躍した郷土の偉人について調べよう」

額田中学校 鈴木広樹 先生

- ①近代に活躍した郷土の偉人について調べよう

◎おかざき映像教材研究会作成の自作教材「岡崎の偉人たち」(平成24年度)を活用した。まず、石田茂作、志賀重昂、本多光太郎の動画を視聴させた。そして、石田茂作について学びを深めることにした。自作教材に収められている「発掘調査により伽藍配置の違いを明らかにして立証した」という解説を視聴させることで、石田茂作の発掘・研究活動が法隆寺再建説の実証に大いに役立ったことを理解させることができた。

